

# 電池式デジタル圧力計 DPM取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き有り難うございます。  
 ご用命頂いた型番であることをご確認の上、この説明書をよくご覧になって正しくご使用下さい。誤った使い方をすると、火災や故障の原因となります。ご不明な点がございましたら、弊社営業部又はご購入販売店までお問い合わせ下さい。この取扱説明書は大切に保管して下さい。又、商品は日々改良されておりますので、必ず現品に付属された取扱説明書で操作を行って下さい。

目 次
I. 型 番
II. 仕 様
III. 外観と外形寸法及び各部の名称
IV. 操作方法
V. 電池の交換方法
VI. 取扱いご注意と保守点検

## I 型 番

DPM-AS-□-0-R2-3

①    ②    ③    ④    ⑤    ⑥

- ① DPM 基本形名
- ② AS センサ接続形状 センサ下付直結（ツバなし）
- ③ □ 圧カスパン 0.5C : -0.1~0.5MPa、1M : 0~1MPa、5M : 0~5MPa、10M : 0~10MPa、50M : 0~50MPa
- ④ 0 出力なし
- ⑤ R2 取付ねじ R1/4
- ⑥ 3 電源 3V リチウム電池 CR123A タイプ

## II 仕 様

### 1. 定格目盛

圧カスパン	目 盛 範 囲	分 解 能
-0.1 ~ 0.5 MPa	-0.100 ~ 0.500 MPa	0.001 MPa
0 ~ 1 MPa	0.000 ~ 1.000 MPa	0.001 MPa
0 ~ 5 MPa	0.000 ~ 5.000 MPa	0.001 MPa
0 ~ 10 MPa	0.00 ~ 10.00 MPa	0.01 MPa
0 ~ 50 MPa	0.00 ~ 50.00 MPa	0.01 MPa

### 2. 電池寿命

バックライトを点灯させず、ピークホールド機能とオートパワーオフ機能を働かさず、表示変換速度 1s で連続使用すれば約 2 年。

### 3. 入力受圧媒体

SUS304L、SUS316L を侵さない液体・気体

### 4. 外形寸法

指示計部 φ80×奥行 43±1mm（外形図参照）

### 5. 取付方式

R1/4 ねじにて導圧管に取付

### 6. 材 質

受圧部 SUS316L、ケース ABS 樹脂、フロントパネル PET

### 7. 保護等級

IP65 相当

### 8. 表示器

4桁LCD表示、文字高さ 12mm

### 9. 精 度

±1%F.S. ±1digit

### 10. 表示変換速度

0.1、0.3、0.5、1秒に設定可能

### 11. 許容過負荷

150%F.S.

### 12. ゼロ点、スパンの温度影響

±0.05%F.S./°C

### 13. 温度補償範囲

-10~60°C（受圧媒体温度）

### 14. 動作温度範囲

-10~60°C（受圧媒体温度）

### 15. 標準機能

バックライト、オートゼロ（RESET）、オートパワーレッシュ表示、ピークホールド、表示変換速度切換

オートパワーオフ、ローバッテリー表示

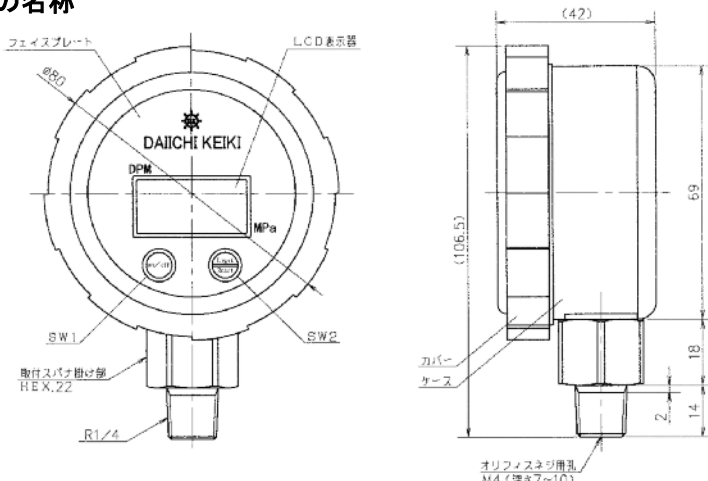
### 16. 使用周囲温湿度

-10~60°C、35~85%RH（氷結結露不可）

### 17. 質 量

約 220g

## III 外観と外形寸法及び各部の名称



## IV 操作方法

### 1. キー機能

SW 1



電源 ON/OFF

オートワーク

SW 2



Light バックライト点灯

Reset オートゼロ機能

### 2. 操作

- 1) SW1 を押すと電源が ON になる。SW1 を 3 秒以上押すと電源が OFF になる。
- 2) SW1 を押し電源を ON にして、SW2 を押すとバックライトが点灯する。5 秒後に消える。
- 3) オートゼロ調整 (RESET)、加圧せず大気圧で行うこと。SW1 を押し電源を ON にする。  
SW2 を 3 秒間押し続けると表示が 8.8.8°.8 を 1 秒間点灯し、その後表示器は 0.000 又は 0.00 を表示する。
- 4) オバブル表示、定格目盛 FS の 1.2 倍迄表示器はフラッシング表示する。これを越えると oL と表示する。
- 5) ピーク値ホールド SW1 を押し電源を ON にする。SW1 と SW2 を同時に 3 秒間押すと PH と表示する。その 1 秒後に表示器右上に ▶ がフラッシングする。そしてピーク値を表示する。この時サンプリング周期は自動的に 0.1 秒になる。SW2 を 3 秒間押すとピーク値はクリアされる。SW1 と SW2 を同時に 3 秒間押すと、表示器に St を表示し、この機能は解除され、通常測定になる。
- 6) 表示変換速度 (サンプリングレート) 切換 電源 OFF 状態で、SW1 を押し続けると dtx.x を表示し、x.x がフラッシングする。SW2 を押す毎に、0.1→0.3→0.5→1.0 秒をフラッシング表示する。初期設定は 1.0 秒
- 7) オートワーク 6) の状態から SW1 を押すと、Ptxx を表示し、xx はフラッシングする。  
SW2 を押す毎に、00→01→02→・・・→10 分と電源が切れる迄の時間を 1 分毎に設定出来る。  
初期設定は 10 分。00 に設定すればオートワーク機能が効かず、連続通電する。更に SW1 を押せば、通常測定になる。

## V 電池の交換方法

電池電圧が低くなると、表示器下 3 桁に Lob を 3 秒間点灯し、自動的に電源が OFF になる。又 SW1 を押しても表示器が点灯しない場合もある。これらの状態になったら次の様に電池を交換して下さい。

1. 前面カバーを左に廻して外して、前面フェイスプレートを外して下さい。
2. LCD 表示器取付部の電池 CR123A を外して下さい。
3. 新しい電池 CR123A を極性に注意してはめ込んで下さい。
4. 前面フェイスプレートを置いて、前面カバーを右に廻して止まる迄ねじ込んで下さい。この時フェイスプレートLCD 表示器窓枠と LCD 表示器が平行垂直になるよう、フェイスプレート部に指を添えてカバーを締めて下さい。

## VI 取扱いご注意と保守点検

1. 取付、取外し時は、取付スナ掛け部にスナを掛けて 18N・m 以下で行って下さい。表示を正面に向けようとする等、ケース本体に無理な力を加えますと、故障の原因になります。
2. 本器の取付スナ掛け部を握ったり、直射日光が当たりますと、局所的な温度変化の影響で、表示値がドリフトする場合があります。
3. 年 1 回の定期点検をお奨め致します。校正の必要がある場合は、弊社でご返却下さい。有償で校正証明書を発行致します。
4. 新しい電池に交換しても何も表示しない場合や、異常な表示をする場合は、故障していると思われます。購入先を通して弊社へ返送下されば、校正修理可能かどうかをお返事致します。

株式会社第一計器製作所

本社・工場 〒660-0823 兵庫県尼崎市大物町 1-7-2 TEL.06 (6481) 5551 FAX.06 (6401) 4646  
東京営業所 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-7-9 TEL.03 (3768) 6761 FAX.03 (3768) 6663

E-mail : feedback@daiichikeiki.co.jp